

## 本当に大切なもの

<b>所属</b>	三重県四日市市立西陵中学校	<b>実践者</b>	天野 勝 (G)
<b>対象</b>	中学1年生全67名	<b>時間数</b>	全6時間
<b>場所</b>	本校視聴覚室	<b>実践教科</b>	総合的な学習の時間
<b>ねらい</b>	前半3時間のテーマは『人生いろいろ』。同級生の考え、他国の暮らしなどを交流しながら、自分の常識を打ち破ることが目標です。後半3時間のテーマは『本当に大切なものは何か?』。自分の生活を検証し、本当に大切なものについて考えさせていきます。		
<b>実践内容</b>	<b>回</b>	<b>プログラム</b>	<b>備考</b>
	<b>①</b>	毎時間新しいグループのメンバーとの「アイスブレイキング」から始め、ウォーミングアップをしました。 「人生いろいろ①～行ってみたい国」 「1か国だけ1週間ただでらせてあげると言われたらどこの国を選ぶか?お互いに世界の関心事を交流し合いました。	教材1(ガーナで買ったアフリカが中心の世界地図)
	<b>②</b>	「人生いろいろ②～チョコの授業」 ガーナと日本を結ぶ「カカオ」を切り口に、カカオ豆からチョコとなって口の中に入るまでの過程を学習することで、チョコレートほど作る人と食べる人の距離が遠い食べ物はないことを知りました。	教材2(自作の「チョコレート何でもランキング」) 教材3(中学3年の英語教科書中のガーナの教材) 教材4(谷川俊太郎の詩「そのこ」You Tube 版)
	<b>③</b>	「人生いろいろ③～ガーナを知ろう」 ガーナの写真を見ながら、ガーナの人々の暮らしや学校生活を知ることにより、自分の生活、日本の現状などと対比しながら、世界の中の多様な社会について学びました。	教材5(ガーナの生活が分かる写真⇒食べ物・水・家庭・習慣・学校・子ども)
	<b>④</b>	「本当に大切なもの①～無人島ゲーム」 「無人島に無期限で移住することになったとしたら何を持っていくか」を考えることを通して、自分の生活を見つめ直し、本当に大切なものについて考えました。	教材6(無人島シート)
	<b>⑤</b>	「本当に大切なもの②～コンビニ弁当の原料生産国を当てよう!」 「コンビニ弁当の具材はどこから来るのか」を考え、結果を知ること、外国産の食品の多さに気づき、自分の国のことだけ考えていては生きていけないことを学びました。	教材7(JICA「どうなってるの?世界と日本」) 教材8(コンビニ弁当の具材19品目) 教材9(教材8の答え)
	<b>⑥</b>	「本当に大切なもの③～人生のタイムラインを作ろう」 5時間の学習をふまえて、「人生のタイムライン」を作成しました。これまでの人生を振り返り、将来の自分を想像してみました。その中から「自分にとって本当に大切なもの」を題材に作文を書きました。	教材10(タイムラインカード)
<b>成果</b>	参加型の学習に初めて参加した生徒は、自分から発信する楽しさや今まで知らなかった友達の考えを知る喜びを感じたようです。また学習が進むにつれて、初めて知ることや思考の転換により、好奇心をかきたてられる感動を少なからず味わうことができました。		
<b>課題</b>	知ることを自分の行動に生かすことにつなげられた実感が薄い。実態や事実がわかっても、自分の考え方・生き方を変えるまでには至っていないようです。それは、世界に飢えている人が多くいることは分かっても、飽食をやめられない大人でも同じであるかも知れません。		
<b>備考</b>			

## [ 授業実践の詳細 ]

### 1 時限目「人生いろいろ①～行ってみたい国」

#### 1 子どもの活動の流れ

- ① グループづくり…1グループ6～7人の11グループ(毎回換える)。「誕生日順に」「アイウエオ順に」など話す条件をつける。1番目の人は〇〇、2番目の人は△△、など役割を分担する。
- ② アイス・ブレイキング(グループ内で顔合わせ)…「昨日一番の思い出」を交流しよう!(あいうえお順に)
- ③ 「1か国だけ1週間ただで行かせてあげる」と言われたらどこの国を選ぶか?」…まず各自が白地図の裏にマジックで国名を書く。グループ内で国名と理由について交流する。グループごとに代表者を一人決め、B4用紙に国名と理由をマジックで大きく書く。
- ④ 発表・共有…用紙11枚をホワイトボードに並べて貼り、11人が前で発表する。感想を書く。

#### この時限のねらい

「人生いろいろ」では、周りの人々、海外の人々の生き方を知ること、自分の人生が標準でないことを知ることが目標とする。今回はその1回目。お互いに世界の関心事を交流する。

#### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 子どもたちが経験したことのない学習スタイルだったので、他のクラスの子や親しくない子と、誕生日や考えていること、興味のある国についての考えを共有したことに対する感動が感じられた。
- ◇ テレビの影響か、観光名所や人気スポット、絶滅危惧種見学などを希望する子どもが多かった。
- ◇ 主な感想は以下の通り。



- ・自分の英語がどれくらい通じるか試してみたいから、イギリスに行きたい。
- ・他のクラスの子や普段話さない人と意見が交換できて楽しかった。(多数)
- ・希少生物がいるのでマダガスカルやエクアドル(ガラパゴス諸島)に行きたい。
- ・いろいろな人の行きたい所がわかってよかった。 ・その人の趣味や生活、性格が知れてよかった。
- ・みんなの話を聞いて「そこも行ってみたいな」と思ったりした。 ・地味に誕生日とかも知れてよかった。
- ・テレビで紹介されていた場所を取り上げる子が多かった。 ・友達の知らなかった一面を知ることができた。
- ・それぞれの人の好きな国がわかったし、その国のいい所がわかった。
- ・クラスも越えて活動したことで、初めて話す子もいて、いい経験になった。
- ・いろいろな国の話を聞いて、視野が広がった。

#### 3 使用した教材

<教材1> ガーナで買ったアフリカが中心の世界地図

## 2 時限目「人生いろいろ②～チョコの授業」

### 1 子どもの活動の流れ

- ① アイス・ブレーキング…「一番好きなお菓子」
- ② カカオ豆の写真…「これは何でしょう？」
- ③ チョコ豆知識(統計)…教材2「チョコレート何でもランキング」を見て班で考える。
- ④ チョコができるまで…カカオマスから圧搾機でココアバターを抽出するまで、チョコ開発の歴史(カカオドリンク⇒圧搾機によるココア発明⇒チョコドリンク発明⇒板チョコ発明)を紹介する。
- ⑤ リタの手紙(英文)…教材3を読み、班で感想をまとめる。  
・ティムもリタも小学生。ティムはイギリス人、リタはガーナ人。ティムの出ているコマーシャルをリタが見た。そのコマーシャルは、リタも手伝っているカカオ農園の豆を買ってくれるようになった会社のもの。(ティムがCMで言ったことは、「チョコはカカオ豆からできる」「ガーナでは多くの人がカカオ豆を作っている」「子どもも働いている」「収入が少ない」「学校に行けない子もいる」「フェアトレードはそれを改善する」)
- ⑥ フェアトレードの話…優良農家の選定、直接取引によるコスト削減、農家から安定した価格での買い取り。貧困と児童労働について。
- ⑦ チョコ試食
- ⑧ 「そのこ」(谷川俊太郎・作)…教材4の視聴。
- ⑨ 感想を書く。

### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ チョコの感想は、「硬い」「パサパサしている」という否定的なものから「風味が豊か」「シンプルな味」という肯定的な意見までさまざま。
- ◇ カカオ豆を生産している人たちがチョコレートを食べないこと、子どもも収穫に関わっていることなどに対する驚きを感じられた。

### 3 使用した教材

- <教材2>チョコ資料(日本チョコレート・ココア協会 HP より作成)
- <教材3>New Horizon3 Unit3 Fair Trade Chocolate(2014 東京書籍)
- <教材4>詩「そのこ」(谷川俊太郎・作、(株)Ace コマーシャル版 Youtube)

#### この時限のねらい

カカオ豆からチョコとなって口の中に入るまでの過程を学習することで、チョコレートほど作る人と食べる人の距離が遠い食べ物はないことを知る。

#### <教材2>

順位	国	生産量(トン)	割合(%)
1		161000	38.7
2		85000	20.4
3		42500	10.2
4		23000	5.5
5		21000	5.0
5		21000	5.0
	合計	416200	100.0

順位	国	輸入量(トン)	割合(%)
1		33022	80.6
2		3053	7.5
3		1688	4.1
4		1614	3.9
5		576	1.4
	合計	40976	100.0

順位	国	一人当たり年間消費量(kg)	チョコ1個70gとして一人当たりの食べる個数(個)
1		11.6	165
2		10.6	151
3		9.8	140
4		9.2	131
5		8.7	124
	日本		

#### <教材3>

August 15

Dear Tim,

Thanks to fair trade, our cacao beans can be sold at a higher price. My little brother and I don't have to work as much as before. We can go to school now.

I saw you on TV. I was surprised to hear that chocolate is made from cacao beans. I have never eaten chocolate myself.

You say, "To eat, drink, and learn is the right of every child." I'm glad to hear that. Thank you.

Best wishes,  
Rita

#### <教材4>



### 3 時限目「人生いろいろ③～ガーナを知ろう」

#### 1 子どもの活動の流れ

- ① フォトランゲージ…次の6枚の写真を見せ、それぞれの課題についてグループで考える。
  - (1) フフ⇒「フフの材料は何か？」
  - (2) ガーナ一般家庭⇒「一般民家を見て考えたこと」
  - (3) 井戸⇒「これは何か？」
  - (4) 子どもがナタで草刈り⇒「男の子は何をしているか？」
  - (5) 頭の上に商品の入った桶を乗せる女性の写真⇒「写真を見て感じること」
  - (6) 学校での交流写真⇒「何の勉強をしているのか？」
- ② 「いいね」と思ったこと、「困ったね」と思ったこと…日本と比較して考える。

#### この時限のねらい

ガーナの写真を見ながら、ガーナの人々の暮らしや学校生活を知ることにより、自分の生活、日本の現状などと対比しながら考えることができる。(多様な社会を学ぶ)

#### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 「飼っている動物を食べるなんて」「イモでできたモチなんてまずそう」「子どもも働くのか」など文化の違いを感じる意見が多かった。
- ◇ 「頭の上に物を乗せる」ことについては、体験してほとんどまねできなかったことから、重いものを乗せることやバランス感覚に感心している子どもが多かった。
- ◇ 主な感想は以下の通り。

- ・日本では当たり前のことが世界では当たり前じゃない。今の生活が幸せだと思った。
- ・国それぞれで違うことが分かって、おもしろかった。すごく視野が広がった。
- ・日本では当たり前のことがアフリカでは貧しくてできないことが分かった。これからは、世界のことも考えたい。
- ・自分と同じ年頃の子どもが仕事をしているなんて、他人事じゃないな。その子どもたちが勉強できるような世界を作らなきゃいけないと思った。
- ・日本は豊かだからいろんな物があるけど、ガーナは子どもも働いているぐらいだからかわいそう。
- ・自分がどれだけぜいたくをしているかが分かり、自分の生活を改めることができ、よい機会になった。

#### 3 使用した教材

<教材5>ガーナの写真6枚



## 4 時限目「本当に大切なもの①～無人島ゲーム」

### 1 子どもの活動の流れ

- ① アイス・ブレイキング…家が火事になったら必ず持ち出すものを1つ挙げよう。
- ② あなたなら何を持っていきますか？…「無人島に長期間行くことになりました。いつ帰れるかわかりません。10こだけ物を持っていくことができます。あなたなら何を持っていきますか？」
  - (1) まずは各自が紙に書く。
  - (2) グループで話し合い、10個にしぼる。
  - (3) 不可欠なものを needs とあればいいもの wants に分ける。
  - (4) 掲示し、比べ合う。
  - (5) 感想をグループで話し合う。
  - (6) グループごと、代表者が発表する。
  - (7) 今日の学習の感想を書く。

### この時限のねらい

「無人島に無期限で移住することになったとしたら何を持っていか」を考えるを通して、自分の生活を見つめ直し、本当に大切なものについて考えることができる。

<教材6>



### 2 子どもの活動の成果・反応

(生徒から出た意見)

水、食料(缶詰・カンパン)、調理器具、武器、服(ジャンパー・タオル・下着・靴・水着)、(手回し式)ラジオ、救急箱、(サバイバル)ナイフ、虫よけ電池、(手回し式)懐中電灯、捕獲用(釣り具・鉾・シュノーケル・弓矢)、火器(ライター・マッチ)、寝袋、ビニールシート、サバイバル本、ソーラー腕時計、水筒、針、糸、調理用(なべ・包丁・砥石・浄水器)、大工用品(のこぎり)、テント、ペット、塩昆布、イチゴ・オーレ、プラレール、ウォークマン、(マンガ)本、ぬいぐるみ、好きな人の写真、虫あみ

◇ お金など、日頃、一番大事だと思うものが、無人島ではまるで役に立たないことを感じたようである。逆に、日頃ほとんど使わないものが、生きるためには必要だったりすることも分かったようである。

◇ 主な感想は以下の通り。

- ・無人島では、普段当たり前に使っているものがなく、生きることで精いっぱい。
- ・普段の生活で必要でも、無人島に行けば役に立たないものがあることが分かった。
- ・今大事にしているものは、いざという時に役に立たないことが分かった。
- ・生きるために必要な道具がよく分かった。そしてその道具は、普通に生きている中で大して使わないものだと分かった。
- ・生きるためには、本当に必要なものと生活を少しでも楽しめるものがあると思った。
- ・無人島で生き抜けるほどの知識がほしい。
- ・普段使わないものが無人島では活躍するのはビックリ。物を大切にしたいと思った。
- ・いくつもの班に共通しているのは「水・食糧・衣服」だった。普段たくさんの物に囲まれ生活しているが、やっぱりこの3つは生きるために必須だと分かった。

### 3 使用した教材

<教材6> 無人島の絵

## 5 時限目「本当に大切なもの②～コンビニ弁当の原料生産国を当てよう！」

### 1 子どもの活動の流れ

- ① アイス・ブレーキング…コンビニでよく買うもの。
- ② 前時のふりかえり…無人島で本当に必要なものをまとめる。
- ③ 今日のテーマ『コンビニ弁当の原料生産国を当てよう！』
- ④ JICA『どうなってるの？世界と日本』のクイズに答えよう！…食糧自給率について考える。⇒グローバルな世界(自分の国だけでは生きられない)

### この時限のねらい

「幕の内弁当の具材はどこから来るのか」を考え、結果を知ること、外国産の食品の多さに気づき、自分の国のことだけ考えては生きていけないことに気づく。

### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 「中国産ばかり！」「こんなに外国の食材を使ってるのなら和膳じゃない」など意見がたくさん出ました。
- ◇ 日本のことだけ考えては生きていけないことも、ある程度は分かったようです。
- ◇ 主な感想は以下の通り。

- ・ほとんど輸入に頼っていることに、ちょっと抵抗を感じた。 ・日本で作れそうな食材まで輸入していて驚いた。
- ・日本は輸入に頼っているから、どんどん借金がたまっている。 ・中国からの輸入食材が多い。
- ・安全性は気になるけれど、輸入しなければ生きていくのが大変なので、複雑だな。
- ・もし他国と貿易できなくなったら、と考えると不安。 ・外国にばかり頼るより、自分たちでできることはやりたい。
- ・『和風』って言うても、弁当の中身は輸入品だらけだなんて、和風じゃない。
- ・いつも食べているものが鎖国したら食べられなくなるとは、何か嫌。
- ・いろいろなものを輸入して日本の食生活は成り立っていることが分かった。
- ・たった数十年でこんなにもお米が食べられなくなったなんて。コメ農家がみんななくなると危機感がある。

### 3 使用した教材

<教材7> JICA ホームページ(どうなってるの？世界と日本)

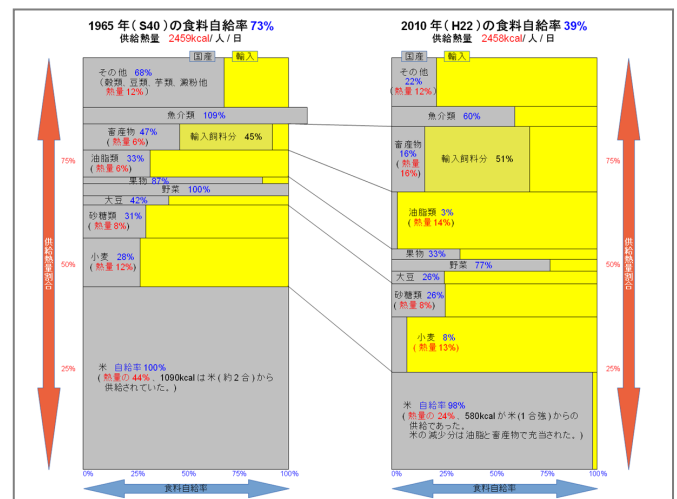


<教材8>『コンビニ弁当 16 万キロの旅』2005 太郎次郎社



<教材9> 食糧自給率の資料

(農林水産省・日本の食料自給率の推移)



## 6

## 時限目「本当に大切なもの③～人生のタイムラインを作ろう」

## 1 子どもの活動の流れ

- ① アイス・ブレイキング…「人生の分岐点となった出来事」家族の人数が多い順に。
- ② 前時の復習…自給率確認、TV ゲーム輸入などのクイズ。
- ③ 人生のタイムラインを作ろう…これまでの人生をふり返ってみよう。1日1日の積み重ねで今の自分があるわけだけど、今の自分を作った転機となる出来事を書いてみよう(「〇〇を始める」「〇〇と出会う」「〇〇で入賞」「〇〇入学」など)。将来の自分を描こう(分岐点をもとにいくつかのゴールも)。
- ④ 自分にとっての『本当に大切なもの』をまとめてみよう(作文)…考え方を変えれば人生が変わる。今、大事にしていることや悩んでいることなどを振り返り、それが『本当に大切なこと』なのか考えてみよう。

## この時限のねらい

「人生のタイムライン」を考えることで、これまでの人生を振り返り、将来の自分を想像することができる。その中から「自分にとって本当に大切なもの」を見つけることができる。

## 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ タイムラインを考えることで、これまでの人生の分岐点となった出来事を思い出したり、自分が本当に大切にしなければいけないことについて考えたりすることができた。
- ◇ その他の感想は以下の通り

- ・家族。家族がなければお金もないから。家族は悪いことをしたらしかってくれるし、成功したらたくさんほめてくれる。悩んでいた自分を心配してくれる。勉強を教えてくれる。
- ・友達。仲間。友達がいなければ趣味もなかった。友達がいなかったら今のように笑えていなかった。
- ・支えてくれる人。いなかったらここまで生きていけない。
- ・お金。楽しさ。命。自分自身。健康な体。生きていなければ夢もかなわない。
- ・平和な地球。(心の)温かさ。家。楽しい思い出。勉強。食べ物と水。
- ・趣味。(テニスラケット。ピアノ。ダンス。歌。音楽。) ・ペット。(犬) ・ライバル。恋人。関ジャニ∞
- ・強い気持ち。あきらめない気持ち。チャレンジする心。未来はまだ分からないけど、いろいろあるだろう。けどあきらめずに進んでいく。いいことも悪いことも背を向けずに本気で進んでいく。
- ・まだ分からない。先のことを想像するのはむずかしい。
- ・夢。目標。したいことがなければ努力しないし、続けられないし、楽しむことができないし、叶わないし、叶ったとしても達成感もないし、つまらない人生になると思うから。

## 3 使用した教材

<教材10>タイムライン

